

いのちの言の葉2010

富山県教育委員会 平成 22 年度いのちの教育総合支援事業

「命の尊厳」(道徳の時間)

富山市立新庄北小学校 6 学年児童
平成 22 年 6 月 17 日実施

【いのちの先生】

内藤 毅郎先生
・ 医師

【授業の概要】

- (1) いのちを守るために … 県立中央病院の救命救急センターの医師や看護師の仕事の話
- (2) いのちの尊厳 … 中央病院の中にある終末期医療の場としてのホスピスの話
- (3) つながるいのち … アメリカの病院で内藤医師が関わった腎臓移植の話



いのちの授業を受けて

いのちの大切さを改めて感じました。病院のことも聞いたし、普段見られない場所も知りました。また、いのちは一つしかなくて、とても大切なもので、自分で守らなければいけないものであることがよく分かりました。また、いのちはみんなとつながっているんだなあと思いました。だから、これからはいのちを大切にしたいです。

いのちの授業を受けて

私は、うまくいかないことがあるとよく「死にたい」とか「もう、ここから消えたい」などと、今思えばくだらないことを考えることがありました。自分より苦しい思いをしている人がもっとたくさんいると、今日の授業で感じました。

いのちの大切さを考えると、軽い気持ちで「死ぬ」とか言ってはいけないと思いました。これからは、自分のいのちを大切にしていきたいと思います。

いのちのメッセージカード

お母さんへ

いのちの授業をうけて、自分のいのちの大切さや、ささいな言葉でも人が傷ついてしまうことなど、大切なことをたくさん教わりました。

これからは、自分のことだけでなく、たとえ知らない人のことでも、人のいのちを大切にしていきたいです。

イラスト「心のノート」より



Sちゃん、葉書ありがとう。

今日は大切な勉強ができたね。

ささいな言葉でも、相手が傷つくことや、いのちの大切なことなど

とても大切なことを学びましたね。

人はそれらのことをすぐに忘れて

てしまいます。でも、今日学んだ

ことはいつまでも心

に残しておいてくだ

さい。 母より

イラスト「心のノート」より

